

国連警察長会議 2018年6月21日

簡易メモ

東京大学大学院「人間の安全保障」プログラム准教授 キハラハント 愛

オープニング

Maria Luiza Ribeiro Viotti, Chef de Cabinet, Office of the SG

- 女性警察官の増加、ジェンダーに考慮した警察活動、被害者に重きをおく警察活動の重要性を強調。

H.E.José Ramos Horta, Norbel Peace Prize Laureate and former President of Timor-Leste

- 国連警察の業務遂行の成功例としての東チモール警察。
- 国連警察の業務の複雑さ。
- HIPPO 報告書において、政治的解決の優先、ニーズへの柔軟な対応、治安維持におけるパートナーシップ、フィールド中心の国連セクレタリアットの重要性を指摘した。
- 国連本部リーダーシップの多様性と複雑性。

セッション1

Mr.Jean-Pierre Lacroix, USG for PKO

- 警察は人々を保護(プロテクション)し、コミュニティが安全だと感じるようにする業務
- コートジボアール、リベリアのミッション終了。全てのステップ(エボラ熱を含む)を国連警察が共有。
- ハイチは治安維持と人権が中心で2017年10月に最大の人員を配置。
- 平和活動は政治的解決の糸口が見えない中で活動するようになり、これは大きな課題。
- 国連警察は常にホスト国のカウンターパートと共に長期的な政治的解決を見据えて活動。
- 国連警察の直面する脅威は多様化。リソースとマンデートが合うようにする必要性。

- 事務総長の A4P イニシアチブでは5つのP (Politics, Performance, Partnership, People, Peacebuilding)を核に。
- 紛争を防止するのに国連警察の役割は大きい。リソースを含む支援が必要。人材と機材。
- コミュニティへのロールモデルとしての国連警察。コミュニティをつなぐ役割、特に弱者を守る存在として。
- SPT は能力のギャップを埋めるために重要なツール。特に犯罪分析、ケースマネジメント、サイバー犯罪、経済的犯罪、法医学、コミュニケーションの分野がより重要に。
- 要員の安全についてアクションが必要。(クルーズ報告書)国連平和活動要員に対する犯罪において、訴追のためあらゆる措置をとる必要。
- SGF を共通の認識とし、地域機関、国連加盟国、すべてのアクターが協力することが重要。

Mr. AtulKhare, USG for Field Support

- 70 年の PKO の歴史でのべ 10 億人の要員。現地の状況の変化。
- クルーズ報告書の勧告を実践して刻々と変化する現地の状況に対応する必要。
- 技術の進化を利用してリソースを最大限に有効活用。例として MINUSMA のキャンプ、今年あと 4 キャンプ設営。監視カメラ。
- 医療研修と状況認識研修。
- 現存のギャップは、例えば夜間飛行のできないヘリコプターにより夜間の緊急医療避難ができないこと、また派遣国が要員と共に送る機材に不備。
- 国連リーダーシップだけでなく国連機関自体にも問題。不足をクリエイティブな方法で充足し、資金を無駄にすることをやめ、サービスを適切に届ける必要。
- 不法行為は人々の信頼を裏切るので、ZeroTolerance はあらゆるレベルで重要。
- 男女平等は国連内あらゆるレベルで必要。
- 継続的に加盟国と対話し、支援を受けて機材、要員の選抜、要員の安全と福祉を向上していくことが重要。

Mr.Michel-Ange Gédéon, DG of theHaitian National Police

- 国連はハイチで7ミッションを展開し、改革、ハイチ警察の強化を行った。2018 年 6 月でハイチ警察は 23 周年だが、国連が不在だったのはわずか数年。
- 国連警察はハイチで平和を支援し、弱者を守り、ハイチが国際的な信頼を得るのに大いに貢献した。毎日の業務と能力開発の両方において。
- 2014 年初頭にハイチ警察の半分が業務を放棄し、同年 4 月に安保理決議 1542 に基づいて国連警察が安定化、警察再建、法の支配と公共の治安に従事。
- 国連警察の助けのもとに、ハイチの警察は3回の五か年計画を立てて機構内の能力開発と改革。途中地震もあったが計画は成功、112 全てのコミューンにおいて警察を配備済。

- 2017-2021 の戦略的計画においてはハイチ警察が自ら作成、実施できるまでになっているが、国連警察の恩恵を受け続けている。
- 国内の安定化において、警察機関を強化することが優先事項である。
- 基本的な警察業務の遂行の支援から、現在では高官への支援、アドバイスへと性質が変化。国内の治安は改善し、国連警察は SPT を送って支援している。国連警察から既にハイチ警察に権威の移行が順調に進んでいる。
- ハイチは国連警察の貢献に満足している。
- 国連警察の課題として、ロジスティック、機材・リソースがある。機材・リソースは現場の状況に対応しなければならないが、例えば車両やヘリコプターが不足している。一方、国連警察による小型ドローンの使用はとても効果的であり、ハイチ警察もこれを取り入れる。
- もう一つの国連警察の課題は要員の質と技術が派遣国によって大きく異なることである。受入国のニーズに合った質と技術の要員が派遣されるべきである。例えば言語能力は、質の良い警察活動を行うために重要であり、また、現地の文化を知ることによって現地の人々と良好な関係を築くことができる。質の良い、また特に女性の警察官を送ってほしい。性的犯罪や人権侵害に対処するためには重要である。

セッション2

Mr. Alexandre Zouev, Assistant Secretary-General for Rule of Law and Security Institutions

- OROLSI の中では国連警察が一番大きな機関で、113 か国からの警察長・代表が参加するこの会議は重要。
- 紛争、紛争の構造の分析を早期に、警察も入れて行うべき。
- 対話、合意の構築、調停における積極的な国連警察の役割。コミュニティとの対話により紛争の原因となる苦情、不満を発見し、紛争予防に役立てる。
- リスクを早期に発見し、意思決定のレベルに効果的に進言できるよう研修を。
- 紛争が起きてから対応する体制を変え、パートナー機関とも協力し、国連警察が国連システム全体への情報提供の中核となるよう、より積極的な姿勢が必要。既に PKO 以外でもシエラレオネ、イエメン、ブルキナファソなどで活動。
- 警察活動は全ての場所で全てのパトロールを担当するのではなく、国家レベルで受入国の警察を再建・再構築することを目指すべき。

Mr. Andrew Gilmour, Assistant Secretary-General for Human Rights

- 警察と人権は共に法の支配、司法、人々を支える自然なパートナーである。人権を尊重する警察はより合法性も高く、効果的に警察の業務を執行できる。人権は警察の内外からの監視にも貢献する。
- 人権は紛争が起こる可能性のある場所でより重要であり、中央アフリカでは現地警察要員の査定を行ったり、各地で能力開発、人権侵害の捜査、選挙違反などについて、国連警察と協力している。全世界において、HRDDP (Human Rights Due Diligence Policy) や警察の行動の改善、強制力を伴わない捜査方法と証拠収集、などについて協力している。
- 人権担当官と警察官は規律管理にも相互に貢献できる。

Ms. Anne-Marie Orlor, former UN Police Adviser and Director of the Police Division

- 犯罪の予防も紛争の予防も成功を測定するのは難しい。複雑化する紛争の中で、国連、加盟国、市民社会が一丸となって紛争予防に努めなければならないが、平和のためのアジェンダには紛争のない国でも紛争予防を組み込んでいくべきだ。
- 警察は元来事件後に対応し、結果を見せる機関であって、予防は見せる結果がないため予防を優先するのが難しい。
- 直接的で構造的で制度的な予防を体制に組み込んでいく必要がある。1. コミュニティと市民社会と共にコミュニティ内、またコミュニティ通しの緊張関係を察知すること、2. 紛争の原因を察知し受入国の警察の一般市民との関係を改善し信頼関係を築くことを支援すること、3. 超国家的・組織的犯罪について INTERPOL や UNODC などとパートナーを組んで各国が対応できるようにすること、を勧告する。
- 紛争中の活動は紛争分析に基づき、また、全ての活動はジェンダー分析に基づいて行うべきである。
- 国連警察は状況分析できる能力があるので、これをミッション共有の状況分析に組み込み、また、特に政治的・経済的な面のある犯罪については情報をミッションの中の経済的分野、政務分野とも共有し、紛争の種について早期に警鐘を鳴らせるようにすべきである。

セッション3

Mr. Mark Kroeker, former UN Police Adviser and Director of the Police Division

- アカウントビリティとパフォーマンスに焦点を当て、警察派遣国、国連加盟国、受入国、資金供出国が共に責任を持って協力していくことが重要。

Ms. LisaButtenheim, Assistant Secretary-General for Field Support

- 平和活動において、各アクターが責任を共有し、よりフレキシブルに、高い適応性と明確な意思決定をしていくことが鍵となる。要員の死傷を最小限にすることにも力を入れる。
- 信頼できるデータ、指標、顧客調査などを元にマネジメント改革やサプライチェーンの統合を進めることが大切である。
- DPKO から軍と警察のシステム全体で使うパフォーマンス評価ツールを作成した。
- 2017 年に DFS が世界を対象に行った顧客満足調査では 72%の国連警察官が DFS のサービスに満足しているという結果が出て、これは前年より 4%満足度がアップしている。
- 要員による不法行為や性的搾取は国連が最も憂慮していることの一つで、メディアは国連の他の事務所などと比べて PKO についてばかり報道しているが、これは PKO が展開する場所の弱い立場にある人々のことを考慮すると納得がいく。国連事務総長は性的搾取の問題について「ゼロ・トレランス」を掲げており、国連はこの問題を撲滅するために特有の責任を負っている。2018 年には警察・軍に対してより厳格な査定措置を取り始めた。また、立証された性的搾取の加害者については、以降 PKO に従事できないように厳格な追跡システムを確立させている。性的搾取の申し立てに対応するだけでなく、予防することも国連の責任であり、重要なのは申し立て・苦情に防御的姿勢ではなく透明性を持って対処することである。事務総長は被害者の支持をする ASG のポジションを初めて作り、ASG がミッションを訪問し、被害者のサポートをするだけでなく各ミッションにも代表を指名する。警察はコミュニティから見えやすいため、現地の人々のロールモデルとして人々との間に信頼関係を築くことが大切なため、国連警察官の行動は大変重要である。このため、データベース、本部職員にも義務付けられている e ラーニングプログラム、など、中央に集められて制度的に使用されるツールが重要な役割を果たす。
- 事務総長はマネジメント改革、フィールドへの分権を強調している。意思決定は、決定される必要のある事項に近いところでされるのが良い。
- 国連職員・スタッフの男女比は 2028 年までに 50%-50%を目指しているが、国連警察は現在女性が 10%ほどである。

Commissioner Luis Carrilho, Police Adviser and Director of the Police Division

- 2016 年の初めての UNCOPS では国連警察を平和と安全保障の分野の中核に持つことが合意され、パフォーマンスとアカウントビリティを改善することが合意されたが、これは全てのアクターの責任である。
- 2017 年の国連警察についての決議はアカウントビリティ、透明性、効率と効果を謳っている。
- SGF に沿った雇用と研修が重要。武力の使用については安保理決議が決定すること。
- 警察部門の長やミッションの長はパフォーマンスに問題がある場合にきちんと対応し、フォローアップすることが重要で、また、指揮責任もしっかり問う。
- Police Division としてはパフォーマンスとアカウントビリティの徹底に力を入れ、最終的な目的に向かって効果的にマンデートを執行する。

- 国連警察が現地で行うべく期待されていることをベースに、姿勢、考え方、研修、機材・リソースを整え、国連警察のアカウンタビリティをしっかりと確立していく。

Mr. AwaleAdbounair, Police Commissioner, UN Organization Stabilization Mission in the Democratic Republic of the Congo

- より複雑な現地の情勢、国連とその要員に対する攻撃、などを経て、クルーズ報告書で強調されたのが、国連と要員の意識を現状に適合させる重要性である。現在国連要員に対する攻撃は頻繁に行われており、そのような中で現地に FPU を含む警察を派遣するため、余計に業務遂行と行動規範の両方についてのパフォーマンスを評価することが重要である。

- 関連して、FPU への研修、文民の保護について現地の能力を強化すること、厳格なパフォーマンス評価と基準を下回る要員・部隊を送還すること、指揮官が不法行為や業務不執行に対して迅速に対応することが重要だ。

- 性的搾取については全てのレベルでゼロ・トレランスを厳守することが重要。例えば MONUSCO では全てのスタッフが義務付けられている追加措置がある。

- 新しい文脈で行われる PKO において、新しい課題に対応し、ブルーベレーが世界中の平和に貢献できるようにしていく。

Concluding Remarks

Mr. Jean-Pierre Lacroix, Under Secretary-General for Peacekeeping Operations

- 国連警察の業務は増加、複雑化。国連警察は平和構築にも開発のフェーズでも重要で、その業務の鍵はより迅速に責任を持って対応することである。

- 各国が自国の警察をより強化し、紛争予防における国連警察の役割を認識し、ジェンダー比を全レベルで 50-50 にし、不法行為に迅速に対処することが重要だ。

- その上で、国連警察がきちんと装備を持ち、遂行可能なマンデートの遂行に当たり、現代的な技術を駆使し、

効果的で責任を持ったリーダーシップのもと、他機関ともパートナーシップを組んで業務を遂行していくことが大切である。